



浅水ふれあいセンターだより



平成26年度20号
発行 平成26年11月19日
発行責任者：センター長
☎ 0220-34-2008

地域づくり第4部会 舟場区説明会を開催

11月8日 地域づくり「第4分科会一人暮らしでも安心して住める事業」の行政区説明会は参加者10名で説明者として、社会福祉協議会 伊藤さんと清水水さんふれあいセンター長により開催致しました。①浅水 地域づくりについて②緊急時・連絡通報カードについて③社会福祉協議会より『小地域ネットワーク事業について』の説明を致しました。質疑応答では・中田の十文字での認知症の人を探した実例等でわかりやすい説明となりました。又、現在民生委員さんの依頼で見守りを行っているが、高齢の方でバイクの免許更新と一緒に行ってほしいとあったとき、万が一の交通事故もあり、依頼どおり行った方がよいか、バイクが無いと食事の買い物にも行けない環境でもあり、こんな時どうしたら良いのかとの相談がありました。一人で悩まず民生委員さんや区長さんと相談することをお勧めしました。



子育て教室を開催

11月12日 子育て教室は参加者9名で講師の狩野恵先生により開催致しました。今回は、「親子でスキンシップ♪」を指導していただきました。寒くて硬くなっている体を十分温めて、その後、音楽やリズムに合わせて親子で、また、おばあちゃんとお孫さんでスキンシップを図りました。その後は、おやつのはさみ、自由に遊んだり情報交換をしたりして終了となりました。



地域づくり 第2部会を開催

11月11日 地域づくり 第2部会は参加者7名と事務局で開催致しました。①1人・2人世帯への意識調査データでの検討を行いました。その中で項目で相談にのってほしいとあり、次回検討する事としました。今回調査の80世帯はいずれ検討が必要となりそうな世帯と想定される。・相談窓口をふれあいセンターで行い、ふれあいセンターへ来ることができない人へは出向く事も必要との案もでた。案 相談担当は担当区長2名とセンター長で自分達ができることと何処へ相談するかを決めていく。・登米市への土地・建物を寄付の方法等は渡辺リーダーが登米市の基準を調べて次回提示することとした。②ホームページ完成の報告を行いました。・いずれ、空き家へ住む人募集へも活用の予定。③空き家の調査について・調査票は別紙で了承されました。・次回開催までに、各行政区の担当は調査票に記入すること。+写真データ2枚/1軒・空き家の管理者が遠方の場合に住所・氏名を確認して、後日 事務局から書類で回答を頂くこととする。『・空き家の定義 ※住んでいなくて、電気・水道が止まっていれば空き家とする。』に決めました。

絵手紙教室を開催

11月12日 絵手紙教室は受講者7名で講師の秋山清人先生により開催致しました。今回は、むらさきカブやカボチャ・ネギ等の野菜、秋らしさを感じるりんごやもみじ等が題材となりました。その他、ほおずき柿といわれる珍しくかわいい柿も題材となりました。



リフレッシュ教室を開催

11月12日 リフレッシュ教室は受講者10名で講師の狩野恵先生により開催しました。今回は、前半は寒さで固くなっている筋肉をほぐすように呼吸法を意識しながら時間をかけてストレッチを行い、休憩をはさみ、後半は早いテンポに合わせ新しい動きも入れながら筋力アップを行いました。

無線機通報訓練を実施

11月14日 浅水自主防災連絡協議会は行政区で支援が必要な場合に浅水地区で支援体制を取るために浅水全域で交信できる『無線機』を各行政区長・センター長・小学校で持って居りますが、万が一の時に使えないことの無いように、訓練を行いました。3行政区がチャンネル違いで交信できませんでしたが、チャンネルの変更の仕方を確認して全員が対応出来ました。参加人数は11名で行いました。

浅水地区総合防災訓練を開催

11月14日 地域の方43名が参加して、登米市消防署東出張所から5名の方々の指導で火災を想定した通報訓練・誘導訓練を行いました。ふれあいセンターは今年度新たに代行員さん6名が業務を行っていることから、万が一の場合、ご利用者を安全に避難させる事の訓練を行いました。その後、消火訓練を行い、救命訓練としてAEDを使用するの訓練を行いました。身近にAEDが無い場合は心臓マッサージを近くにいる方々と協力して行い、救急車の到着を待っています。救急隊の方からは救急車は浅水地区であれば5分で到着するが、受けてくれる病院を探すのに時間がかかることから、かかりつけの病院や生年月日などがあると早く病院へ出発できるとの事ですので、現在地域づくりを進めております、1月に配布する『緊急時・連絡通報カード』を活用してください。



登米市民病院についてを開催

11月14日 地域の方々43名と登米市民病院 院長石井先生と渡邊武光氏が参加して石井院長先生より『登米市民病院と米谷病院について』の講座を致しました。石井院長先生は登米病院の院長で13年勤務しましたが、登米病院は登米診療所となりましたが、訪問医療もふくめ、現在も診療を行っていることなどをお話頂きました。

昨年4月から登米市民病院の院長となりましたが、救急重症患者は大崎市民病院や日赤石巻病院へ行っていたりなど、登米市民病院が出来る事と出来ないことを連携強化していることとお話頂きました。・老人ホームは自分の事ができる人が入り、特別養護老人ホームは自分の事が出来ない人が入るが、自分の事が出来ない人を診てくれるところは、石橋病院や野崎病院へ行くことになっている。登米市としても現在高齢化で、80歳の方が、100歳の人を見ているなど大変な環境の家庭もあり、地域で診てくれることが必要となる。こういう環境で、米谷病院を新しくする必要のあることやその場合に老人が入れる施設にする方向などの話を頂きました。参加の皆さんからは、是非実現してほしいと要望がありました。後半は質疑応答として病院関係で困っていること聞きたいとありました。多くの質問もありましたが、その中のポイントを記載しました。・当番の先生がいても、専門外で診てくれない場合がある、回答 昔は医者が逮捕されることはなかったが、現在は即そうした行為となることから、産婦人科や小児科等危険が伴う専門外の医療行為は避ける様になっている、総合医療を出来る先生を増やす様に努力している。・診療が終わっても会計処理で待たされる、回答 登米市民病院は来年1月に電子カルテ方式に変えて事務の効率化を目指しているが切り替え時は更に時間がかかるので理解してほしい。

コミュニティ移動研修(巻区)を開催

11月15日 コミュニティ移動研修は巻区の皆様24名で開催いたしました。研修先は気仙沼方面で行い、バスの中で『地域づくり・一人暮らしでも安心して暮らせる事業』説明も行いました。唐桑半島ビジターセンターは昨年リニューアルされ映像も更新されておりましたし、別の部屋では「3D気仙沼震災映像記録」や写真展示や職員の語り部的なサービスも行われておりました。是非体験すべきと思われました。昼食は気仙沼ホテル観洋で行いコミュニティの懇親も行いました。参加者からは好評でした。



浅水ふれあいセンター ホームページをご活用ください。 地域情報が観れますよ。
パソコン・スマートホンで『浅水ふれあいセンターか浅水コミュニティ運営協議会で検索できます。

これからの主な事業・行事

12月

11月

- 16日(日) コミュニティ専門部研修
- 19日(水) リフレッシュ教室
- 20日(木) 女性講座 新潟県柏崎市コミセンター長視察研修受入
- 22日(土) 地域づくり行政区説明会 小島区
- 23日(日) コミュニティ移動研修 新小路区
- 26日(水) 絵手紙教室
- 29日(土) 体育部会
- 30日(日) コミュニティ移動研修 新田区

- 3日(水) 男の料理教室
- 5日(金) 子育て教室
- 6日(土) 子どもクッキング教室
- 9日(火) 地域づくり第2部会
- 10日(水) リフレッシュ教室
- 11日(木) 健康長寿講座
- 16日(火) そば打ち教室
- 17日(水) 絵手紙教室
- 18日(木) 女性講座
- 26日(金) リフレッシュ教室

